

前回の振り返り

2018年9月28日

資源エネルギー庁
新エネルギーシステム課

第7回検討会の議題と討議内容

OpenADR WGからの報告

報告内容

- VPP構築実証事業を踏まえてデマンドレスポンス・インターフェース仕様書を1.2版へ改定した旨を報告。
- OpenADRの国際標準化に向けた動向について報告。
- 2018年度の活動方針について報告。

決定内容

- 上記の方針で検討を進めていく。

ECHONET Lite WGからの報告

報告内容

- HEMSコントローラのプロパティ拡張の方針について報告。
- 太陽光発電システムのVPPリソース化に向けたECHONETプロパティ案について検討状況を報告。

主なご意見

- 太陽光と蓄電池を1つのPCSで制御するハイブリッドPCS（複数直流入力PCS）という製品がリリースされており、VPPリソースの1つとして活用できるよう継続してご議論いただきたい。
- EVの接続も追加したマルチ入力PCSも既にJETの認証制度も整備されており、逆潮流の実施等、VPPリソースとして活用する上での課題についてご議論いただきたい。

決定内容

- 引き続き、上記の拡張案検討をWGで進めていく。

第7回検討会の議題と討議内容

サイバーセキュリティWGについて

報告内容

- 一般送配電事業者とリソースアグリゲーターとの間のシステムに関して、ERABに参画する各事業者が行うべきサイバーセキュリティ対策を整理し、ERABサイバーセキュリティガイドラインの改定を行った旨を報告。
- 一般送配電事業者等と中央給電システムとの接続に向けた課題抽出・検討を進めており、必要に応じてセキュリティWGを開きつつ、ERABに参画する事業者が行うべきサイバーセキュリティ対策の検討を行い、随時ガイドラインの改定を行っていく旨を報告。

決定内容

- 上記の方針で検討を進めていく。

制御量評価WGからの報告

報告内容

- エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドラインを改定した旨を報告。
- 電源I-b相当のベースライン設定方法について報告。
- 2018年度の活動方針について報告。

決定内容

- 上記の方針で検討を進めていく。

第7回検討会の議題と討議内容

2017年度予算事業

報告内容

- 2017年度のVPP構築実証事業の概要について事務局より説明。
- 2017年度のVPP構築実証事業に参加している事業者（アグリゲーションコーディネーター6者：アズビル、SBIナジー、エナリス、関西電力、東京電力HD、ローソン）および共通基盤構築事業者（東京電力PG）から、実証結果の概要を報告。

その他

報告内容

- 東京エリアの需給ひっ迫およびDR対応、逆潮流に関する検討状況、上げDRの普及に向けた検討状況、ERAB普及啓発施策などについて説明。

本日の議題

- 本日は各WGにおける検討の進捗状況、またVPP構築実証事業等について、報告・議論を行う。

第8回ERAB検討会の議題

(OpenADR WGからの報告)

- ✓ **アグリゲーターに対するアンケートを踏まえた機器別実装ガイドラインの改定の進め方等**

(ECHONET Lite WGからの報告)

- ✓ **太陽光発電システム、複数入力パワーコンディショナーのECHONET Liteプロパティの拡張案等**

(サイバーセキュリティWGからの報告)

- ✓ **サブワーキンググループの設定**

(制御量評価 WGからの報告)

- ✓ **ネガワット調整金の計算方法**
- ✓ **小売電気事業者へのDR発動に関する情報提供**

- ✓ **ベースライン**

(その他報告等)

- ✓ **2018年度および2019年度VPP実証事業**
- ✓ **住宅用太陽光のFIT買取期間終了に向けた対応**